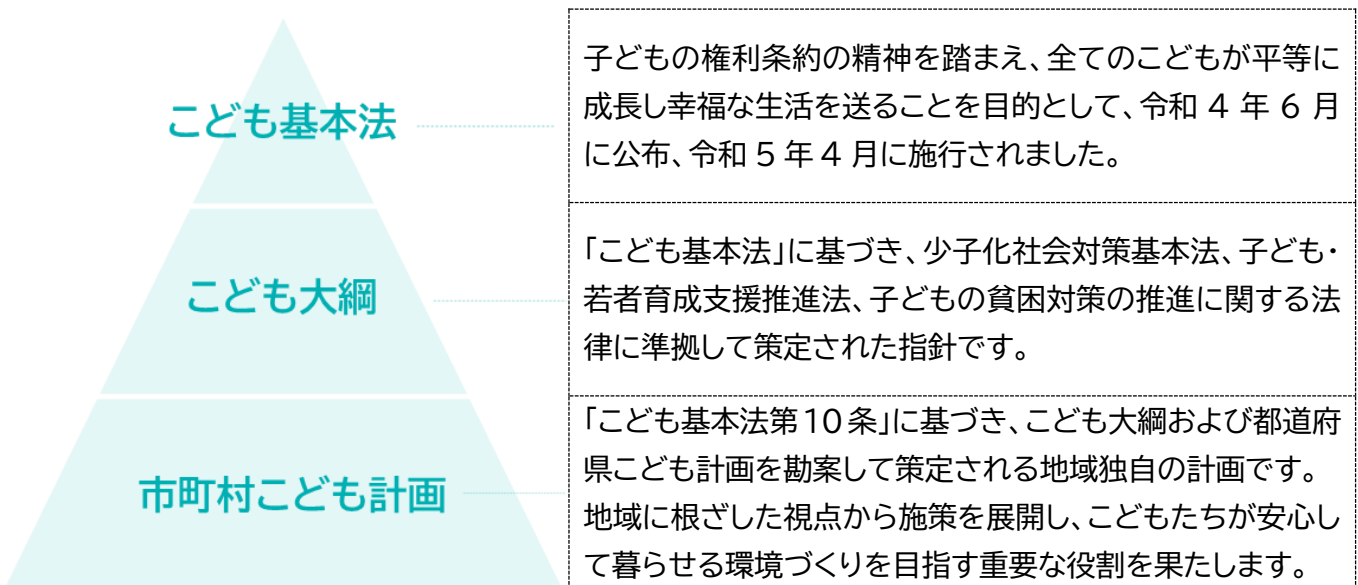


(仮称)木更津市子ども計画に係る意見募集について

1. (仮称)木更津市子ども計画策定の背景

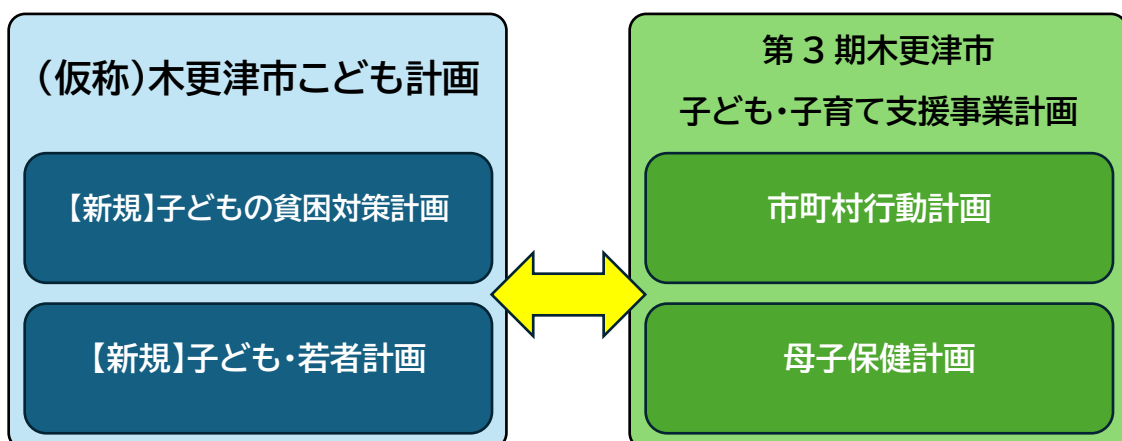
本計画は、国の「こども基本法」および「こども大綱」に基づき、また令和6年度中に策定予定の「千葉県こども計画」の方針を踏まえ、木更津市独自のこども政策を明確にすることを目的に策定します。



2. 計画の位置付け

(仮称)木更津市子ども計画は、こどもの貧困の解消に向けた対策の推進に関する法律に基づく「子どもの貧困対策計画」と、子ども・若者育成支援推進法に基づく「子ども・若者計画」と一体のものとして作成します。

また、計画期間を令和8年度から令和11年度までの4か年とし、その間は今年度策定する「第3期木更津市子ども・子育て支援事業計画」を参照するなど連動しながら、地域の子育てやこどもを取り巻く環境の充実を図ります。



3. 今後のスケジュール

令和 7 年 2 月末	・きさらびみなトークでの意見聴取(4月末まで実施) ・令和6年度 第3回子ども・子育て会議
3 月	・計画の方向性・骨子の検討・仮設定
4 月	・きさらびみなトークの回答を踏まえた方向性・骨子の見直し
5 月	・ワークショップの開催・その他意見聴取実施 ・令和 7 年度 第1回子ども・子育て会議
6 月	・Web アンケート調査実施
7 月	・アンケート調査分析 ・課題整理・施策の検討
8 月	・施策別の指標検討
9 月	・骨子案の作成
10 月	・第 2 回子ども・子育て会議 ・骨子案への意見反映と素案の作成
11 月	・第 3 回子ども・子育て会議(書面開催) ・素案への意見反映
12 月	・パブリックコメント ・パブリックコメント(子ども版)
令和 8 年 1 月	・パブリックコメントの意見反映
2 月	・第 4 回子ども・子育て会議 ・計画案の諮問
3 月	・計画の公表

4. アンケート案(こども向け)

No.	カテゴリ	設問内容	分析視点・目的・計画への反映
1	あなた自身 のこと	性別	回答者の属性の把握。
2		学校区	
3		世帯人数	
4		一緒に住んでいる人	

		一緒に住んでいる人の国籍	回答者の属性の把握。
5		暮らしの豊かさ	生活困難度、世帯状況別等分析。
6	ふだんの生活や健康	持ち物や暮らしの環境	
7		一週間の食事回数	
7-2		(食事をとらない理由)	
8		おうちの人とすること・頻度	孤立状況を把握。自己肯定感、生活困難度との関連などについて分析。
9		自分の意見を聞いてもらえるか	子どもの権利の認知度を把握。回答者の属性ごとに分析。
10		自分の健康状態	生活困難度ごとの状況を把握。
		虫歯の状況	生活困難度ごとの状況を把握。
11		ヤングケアラーの認知度	ヤングケアラーの認知度把握。
12		普段の過ごし方	生活状況把握。回答者の属性、生活困難度ごとに分析。ヤングケアラーについて状況把握。
12-2		家事の負担	
13		お世話している家族の有無	
13-2		お世話している人	
13-3		お世話している理由	
13-4		一緒にお世話する人の有無	
13-5		お世話している頻度・時間	
13-6		家族のお世話の負担	
	学校・勉強のこと	授業で分からないことの有無	授業の理解度、学習意欲を把握。 生活困難度・学習時間・学習支援及び学習資源の利用状況ごとに分析。
		授業以外での勉強時間	学習意欲、習慣の把握。回答者の属性、生活困難度ごとに分析。
		自宅で使用している教材	学習資源の利用状況の把握。回答者の属性、生活困難度ごとに分析。
		放課後に勉強をする場所	学習習慣の把握。回答者の属性、生活困難度ごとに分析。
13	ふだんの考え方	自己肯定感・将来への考え方	自己肯定感の状況を把握する(生活困難度、世帯構成等で分析)
14		まわりの人との関係	孤立状況を把握。自己肯定感、生活困難度との関連などについて分析。
15	ふだん過ごす場所	平日の放課後の過ごし方	各種支援の利用意向を把握し、施策の検討に活用。回答者の属性、生活困難度ごとに分析。
16		過ごしたい場所とその理由	
		過ごしたい場所の具体例	各種支援の利用意向を把握し、施策の検討に活用。回答者の属性、生活困難度ごと

			に分析。
		休日の過ごし方	休日の孤立状況の把握。生活困難度、世帯構成、保護者の就労状況別等の分析。
17	ふだんの相談先	相談できる人	孤立状況を把握。自己肯定感、生活困難度との関連などについて分析。
18		相談しやすい方法	各種支援の利用意向を把握し、施策の検討に活用。回答者の属性、生活困難度ごとに分析。
19	こどもの権利	4つの原則の認知度	子どもの権利の認知度を把握。回答者の属性ごとに分析。
20		4つの原則が守られているか	子どもの権利の実感を把握。回答者の属性、生活困難度ごとに分析。
21		あると良いと思う仕組み	各種支援の利用意向を把握し、施策の検討に活用。回答者の属性、生活困難度ごとに分析。
22	木更津市のこと	市の情報の周知状況	情報発信の認知度を把握し、施策の検討に活用。回答者の属性ごとに分析。
23		意見表明の方法	こどもの意見聴取の利用意向を把握し、施策の検討に活用。回答者の属性ごとに分析。
24	将来のこと	進学希望	子どもの将来に対する意識を把握。生活困難度、自己肯定感等分析。
24-2		(進学希望の理由)	
25		将来どんな暮らしをしているか	
26		安心した暮らしに必要なもの	各種支援の利用意向を把握し、施策の検討に活用。回答者の属性、生活困難度ごとに分析。
27	自由記述	あったらいい・してほしいこと	カテゴリ別の集約を想定。

※網掛けしている設問は、当初検討していたけれど設問数削減のため掲載を保留としている設問です。

5. アンケート案(保護者向け)

No.	設問カテゴリ	設問内容	項目設定の目的、計画への反映
-----	--------	------	----------------

1	保護者とお子さん のこと	お子さんの学校区	回答者の属性の把握
2		回答者の続柄	
3		世帯員数	生活困難度の把握、生活困難度別の分析に活用(基本属性分析)
4		世帯員の続柄	
		世帯員の国籍	
5		世帯員の障がい等の有無	
6		ひとり親該当か	回答者の属性の把握
7		保護者の年齢	年齢別の分析(基本属性分析)
8		保護者の最終学歴	生活困難度別の分析に活用(基本属性分析)
9	世帯の暮らしの状況	収入・就労状況	就労状況を把握、子どもの食事摂取状況などとクロス集計を想定
9-2		就業形態	
9-3		夜勤・休日出勤の有無	
10	世帯の暮らしの状況	年間世帯収入	生活困難度の把握、生活困難度別の分析に活用
11		暮らしの豊かさ	
12		子どもの頃の暮らしの豊かさ	
13		貧困による生活必需品の欠如歴	
14		家賃・公共料金の滞納歴	
15	保護者とお子さんの健康状態	保護者とお子さんの健康状態	健康状態と生活困難度との関連性を把握。
16		受診できなかった経験の有無	生活困難度ごとの状況を把握、支援の必要性について検討。
16-2		受診できなかった理由	
17	お子さんについて	持ち物や暮らしの環境	家庭における子どもの状況の把握。基本属性、保護者の就労状況、生活困難度別に分析。
18		一週間の食事回数	食生活の格差を把握。生活困難度別、保護者の就労状況別に分析。
18-2		(食事をとらない理由)	
19		生活・学習習慣	孤立状況を把握。学校での問題、生活困難度との関連などについて分析。
20		お子さんの意見を聞いているか	
20-2		普段の過ごし方	生活状況把握。回答者の属性、生活困難度ごとに分析。ヤングケアラーについて状況把握。
20-3		家事・家族のお世話の影響	
20-4		家事やお世話をしている理由	
21		家事やお世話をしている負担	
22	あなたの普段の考え方	最近1か月間の気持ち	うつ病や不安障害などの精神疾患の可能性を把握。基本属性、生活困難度別に分析。

23		まわりの人との関係	孤立状況を把握。自己肯定感、生活困難度との関連などについて分析。
24	お子さんの放課後過ごす場所	平日の放課後過ごす場所	各種支援の利用意向を把握し、施策の検討に活用。回答者の属性、生活困難度ごとに分析。
24-2	学校・勉強のこと	進学希望	保護者の経験と比較
25		進学希望の理由	生活困難度ごとの状況を把握、支援の必要性について検討。
26		学校生活での問題有無	
27	保護者の相談先	悩みの相談先	保護者の孤立状況の把握。基本属性、生活困難度別に分析。
28		悩みの相談方法	各種支援の利用意向を把握し、施策の検討に活用。回答者の属性、生活困難度ごとに分析。
29	少子化対策	配偶者との出会いの場	少子化対策の施策の検討に活用。生活困難度の把握、生活困難度別の分析に活用。
30		出産・育児への希望	
31		理想のこどもの人数	
31-2		(現実のこどもの人数との差)	
32		理想より少ない理由	
33	木更津市への意見	市の情報の周知状況	情報発信の認知度を把握し、施策の検討に活用。回答者の属性ごとに分析。
34		支援制度の利用有無	支援制度の利用状況の把握。生活困難度の把握、生活困難度別の分析に活用。
35		支援の改善希望	生活困難度ごとの状況を把握。支援施策検討に活用。
36		4つの原則の認知度	子どもの権利の認知度を把握。回答者の属性ごとに分析。
36-2		(どのようにして知ったか)	情報発信の認知度を把握し、施策の検討に活用。回答者の属性ごとに分析。
37	自由記述	あったらいい・してほしいこと	カテゴリ別の集約を想定。

※網掛けしている設問は、当初検討していたが、設問数削減のため掲載を保留としている設問です。